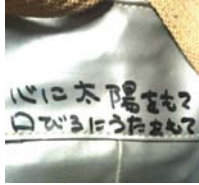


安全な場所

娘三歳がぬいぐるみ達を「うんしょ、うんしょ」とどこかに運んでいた。「じしんがくるから、みんなひなんしたの」と言う。しばらくして、「さて寝るか」とパパの掛け布団を開いたら、ぬいぐるみが全員寝てた。思わず吹き出した。そして、いつもパパと寝てる娘三歳が「ここが安全」と思ってくれて嬉しかった。

父親のメッセージ

家の非常袋を確認したら、父親が40年前に書いたメッセージが残っていた。私も新しい非常袋にメッセージを書こう。見た人が励まされるような。



パパの仕事

旦那さんが自衛官の友人は以前、息子さんから「パパは戦争がお仕事?」と涙ながらに聞かれた事があったそう。誰かの心ない言葉に傷付いたんだろう。でも今は毎日TVに向い「パパ頑張れ、パパのお友だち頑張れ!」と叫んでるって。「僕も自衛隊になる!」って。わたしも号泣。

母の言葉

亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合くと余る」それが、被災地で実践されていた。皆さんを誇りに思います。頑張ってください。

昔の顔

病院の食堂で働く母からの話。節電のため暗い食堂で食事の老夫婦。ただでさえよく目が見えない老婦人『じーさんの顔が見えないから、昔のじーさんの顔を思い出しながら食べる事にしましょ』だって。何かいいよね。

また送るからね

避難所からテレビカメラに向かって「わたしは無事」を語りかけるおばあちゃん。「ただ……」と孫に向かって言う。「入学のお祝いを買っておいたんだけど、流されちゃってごめんね」と、「かならずまた送るからね、ごめんね」と。人間って、もう、ほんとにもうっ。

どうぞ我慢せず

今日被災者に電話インタビューした。家を無くした40代の女性。「私達は他人の幸せや喜びをねたむほど落ちぶれてはいない。皆さんどうぞ我慢せず楽しい時は笑い嬉しい時は喜んでください。私達も一日も早く皆さんに追いつきます」俺は涙をこらえ笑顔でエールを送った。

絶対元に戻します

避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らしたとき、横に居た高校生ぐらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ。

思いやりないんやろか

レジで後ろに並んでた奥様方に「買いだめとかして、思いやりないんやろか」みたいなこと言われた。そしたら顔馴染みのレジのお兄さんが「いつもありがとう御座います。ご家族が多いと毎日の買い物も大変ですね」って声をかけてくれた。ウチは8人家族。泣きそうになった。

ホッカイロ

母「ホッカイロ逃げたあ」妹「逃げてないよ♪」母「あ、いたいた☆」停電中家族で一つのふとんに入り、あったかい娘の足を探すかわいい母なのでした。

叱咤激励

鹿児島でひとり暮らし母に電話。声を聞かせて安心させるつもりが、逆に叱咤激励されてしまった。母曰く「あなたが今その年齢で其処に立っていることの意味を真剣に考えなさい。自分にできるやり方で世のため人のために尽くしなさい」と。僕はあなたの子であることを誇りに思います。明日も生きるぞ。



佐渡でも親族や知り合いが被災

災された方、仕事に影響ある方などいるかも知れませんが、なんでも先走りが不安に感じますよね。でも大丈夫。必ずニッポンは元気になります。これまでもずっとそうでした。元氣だして、これから一歩ずつ進んでいきましょう!

☆お便り紹介コーナー☆

2月に始まったこの「佐渡やらんかつちゃ通信」にたくさんのお便りを頂いていますので、少しずつご紹介します。



☆加茂歌代の岡本さんから☆

「佐渡やらんかつちゃ通信」創刊おめでとうございます。村山さんお返事ありがとうございます。とても早い御見返を頂戴しました。6月には希望の母と娘の絆(心)の私書箱(お便り)に、今私たちが暮らす生活ながら、日々生活を立て直して頑張っています。今後もやらんかつちゃ通信 幸甚にしています。ムック通信 2018 年 4月

お便りありがとうございます。4人目のお子さんが生まれるんですね。3人の子育てをしながら、大忙しの毎日でしょうね。

次の世代を育てる子育ては「未来を育てる仕事」だと言えます。いうなれば、「日々の子育て、イコール子どもたちの未来」のまさに頑張るお母さんたちのための言葉です。ムックも子育て頑張らなくちゃ。どうぞ健康で赤ちゃんを産んでくださいね~!

☆加茂歌代の「角の取れた鬼」さんから☆

お便りありがとうございます。そうですね。ムックは、十日町市の松代からやってきた婿殿なんですよ。仰るとおり、これまでは都会的な生活が持てはやされ、人もドンドン都会に出ていきましたね。でも、これからは食料の自給や自然に優しいライフスタイルが必要にな

「佐渡やらんかつちゃ通信」創刊おめでとうございます。村山さんお返事ありがとうございます。とても早い御見返を頂戴しました。6月には希望の母と娘の絆(心)の私書箱(お便り)に、今私たちが暮らす生活ながら、日々生活を立て直して頑張っています。今後もやらんかつちゃ通信 幸甚にしています。ムック通信 2018 年 4月

るので田舎の生活が脚光を浴びると思います。「佐渡の生活がニッポンの理想の未来?」なんてね。ムックも昔は都会で暮らしたかったですが、今は佐渡の生活や佐渡の人が大好きですから、みなさんと一緒に頑張っていこうと思っています。これからも応援よろしく願いいたします!

☆今月のお題は?☆

好きなテレビ番組は何ですか?

その理由もお聞かせください。

サスペンスかな? お笑いかな? 水戸黄門かな? 同封のお便り用紙に書いて送ってくださいね。

3月の座談会は中止に

3月13日(日)に予定されていた新しい未来を語る「3月の座談会」は残念ながら中止となりました。震災直後で、講師や参加者の来場の可否が不確定だったための苦渋の判断でした。楽しみにされていた方には申し訳ありません。今後のイベント開催も未定ですが、必ずまた機会を作って、皆さんと一緒にできればと考えています。その時は、よろしく願いいたします。

🔍 クイズの答え

今月のクイズの答えは、「**②家の中に、トイレ専用の部屋があった**」でした。

貴族は十二単(じゅうにひとえ)なんていう大変な着物を着ていましたし、おしゃれにはとても気をつけていましたから、人に見られるかもしれない外で用を足すわけにはいきませんでした。

トイレ専用の部屋には、「**ひばこ**」と言われる箱がおいてあって、貴族はその中に用を足しました。使用後は、女中さんがやってきて、中身をチェックし、色や形で健康状態を確認しました。その後は、都に流れている川に流し、きれいに洗って元にもどしました。貴族ならではのですね。